

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果についてのお知らせ

### 佐賀市立赤松小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和7年4月17日(木)

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

#### ■ 調査の内容

(1) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童(生徒)に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

(2) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### ■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は、小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は、各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合。

佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目	本校 %	全国平均 %
学校に行くのは楽しいと思う。	90%	86.5%
将来の夢や目標を持っている。	81.1%	83.1%
自分には、よいところがあると思う。	87.8%	86.9%
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	81.1%	84.9%

「学校に行くのは楽しいと思う」の項目は、全国平均より高い結果が出ています。

「自分には、よいところがあると思う」の項目は、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

家庭学習の様子に関する調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	12.2%	12.1%
「2時間以上、3時間より少ない」	25.6%	12.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	22.2%	29.1%
「30分以上、1時間より少ない」	21.1%	27.4%
「30分より少ない」	12.2%	12.9%
「全くしない」	6.7%	5.7%

家庭学習については2時間以上取り組んでいる児童が多いです。その他の学習時間は、全国平均とほぼ同等です。

#### (2) 改善に向けての取り組み

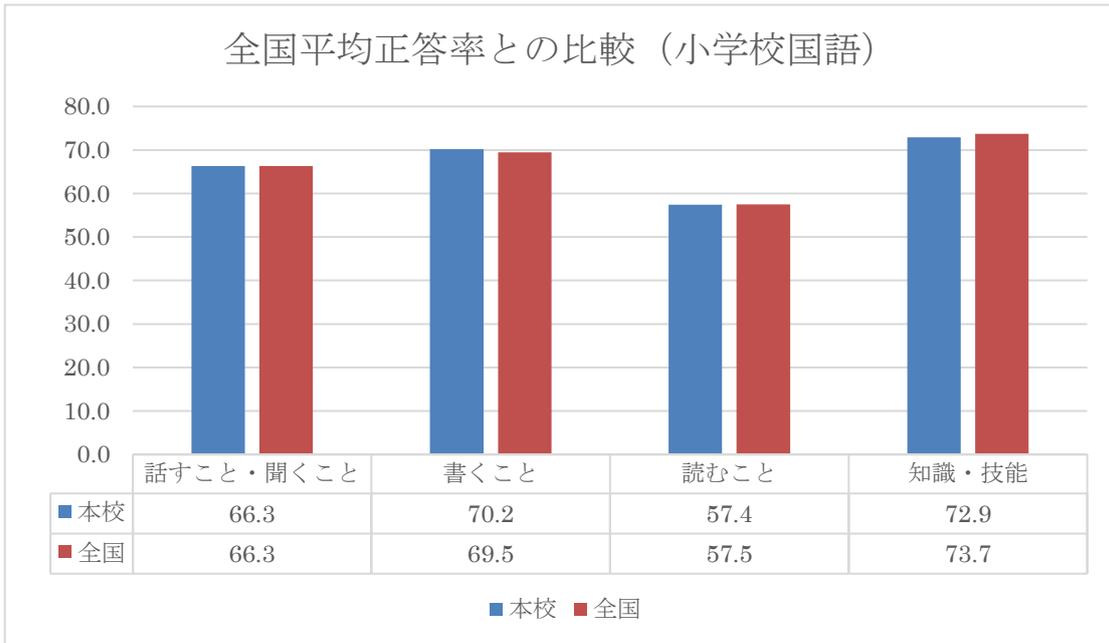
##### 【学校では】

- 学校生活全般で「自分で考え、自分で決める」というプロセスを繰り返すことで、主体性、自己肯定感を高め、志をもって行動できる子どもたちを育てます。
- 合意形成の話し合いを多く経験させ、少数意見を大切にしたり、多様な意見に耳を傾けたりする子どもたちを育てます。
- 学校生活を楽しく過ごせるよう、子どもたちに「出番・役割」のある活動を仕組み、充実感や達成感を味わい、自己肯定感を高める指導を続けていきたいと思えます。委員会や学校行事、学級活動などを有効に活用します。

##### 【ご家庭では】

- 「レインボー週間」の取り組みへのご協力を引き続きお願いします。おうちの方の励ましの言葉が子どもたちの学習意欲につながります。成長を見逃さず、「すごい!」「やったね!」とほめて自信をもたせるようなお声かけをよろしくお願いします。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、生活リズムを整えるようお願いします。脳が活性化し集中力が高まります。

## 2 国語



### (1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「書くこと」は全国平均正答率を上回っています。また、無解答率では、全国平均と同程度ですが、設問によっては、全国平均よりわずかに高くなっているものもありました。

### (2) 成果と課題

「書くこと」が 0.7 ポイント上回りました。条件作文を書かせたり、目的に応じた振り返りを書かせたりする学習を授業に取り入れてきたことの成果であると考えられます。課題は、「読むこと」「知識・技能」の正答率を上げることです。「読む力」をつけるために、音読の習慣化、語彙力の向上、多様なジャンルの読書などが大切になります。「知識・技能」を高めることについても前述に加え、書くこと話すことを意識的に実践することが必要になります。

### (3) 学力向上のための取り組み

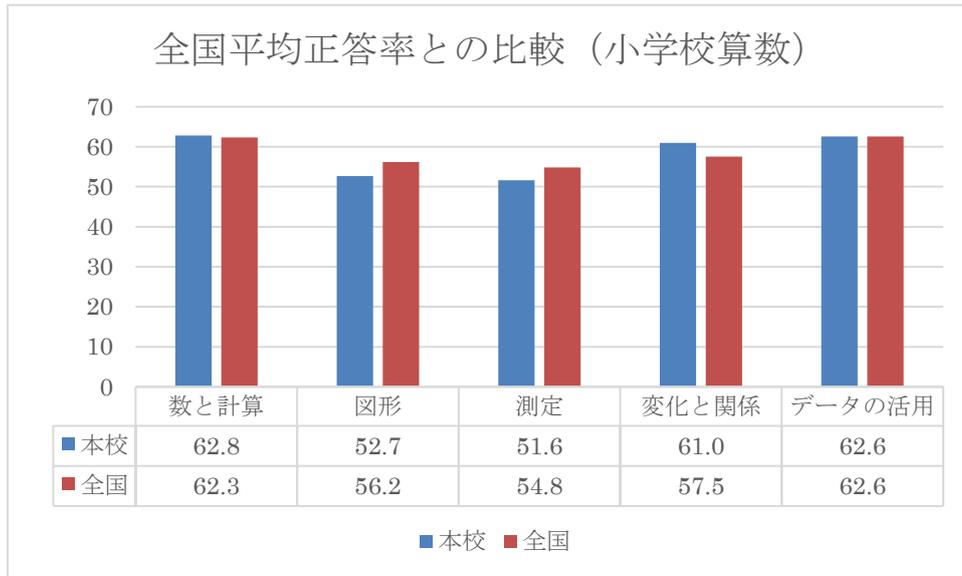
#### 【学校では】

- 読書習慣をつけるために、朝の活動や隙間時間に読書ができるような環境を整えます。また、多様なジャンルの読書ができるように、学校図書館の活用や学習指導の中に読書を取り入れる工夫をします。
- 語彙力を向上させるために、出会った言葉の意味を調べ理解するだけでなく、その言葉を積極的に使うことができるような機会を設けます。

#### 【ご家庭では】

- 読書を大切にしていきましょう。家の中に本を置いていつでも手に取れる環境を作り、おうちの方も一緒に読む機会をもちましょう。文学・科学・歴史・地理…多様なジャンルの本を読み、いろいろな表現にふれることで、「読む」を楽しめるようになります。
- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文章への理解が深まり、様々な表現方法、文の構成、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることにもつながります。

### 3 算数



#### (1) 結果

「データ活用」は全国平均と同等の結果でした。「数と計算」領域、「変化と関係」領域では、全国平均より高い値となっていますが、「図形」領域、「測定」領域では全国平均を下回っています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

#### (2) 成果と課題

「数と計算」が0.5ポイント上回りました。四則計算等の基礎基本の定着が図られるような指導を行ってきたことの成果であると考えられます。引き続きタブレットPC等も使い、前年度までの学習の復習を行います。課題は、「図形」「測定」の正答率を上げることです。タブレットPCを使うことは、視覚的にイメージしやすくなったり、動画やアニメーションで理解を高めたりすることには効果的です。しかし、作図や測定は、実際に書く、触れる、図るなどの体験が重要になります。

#### (3) 学力向上のための取り組み

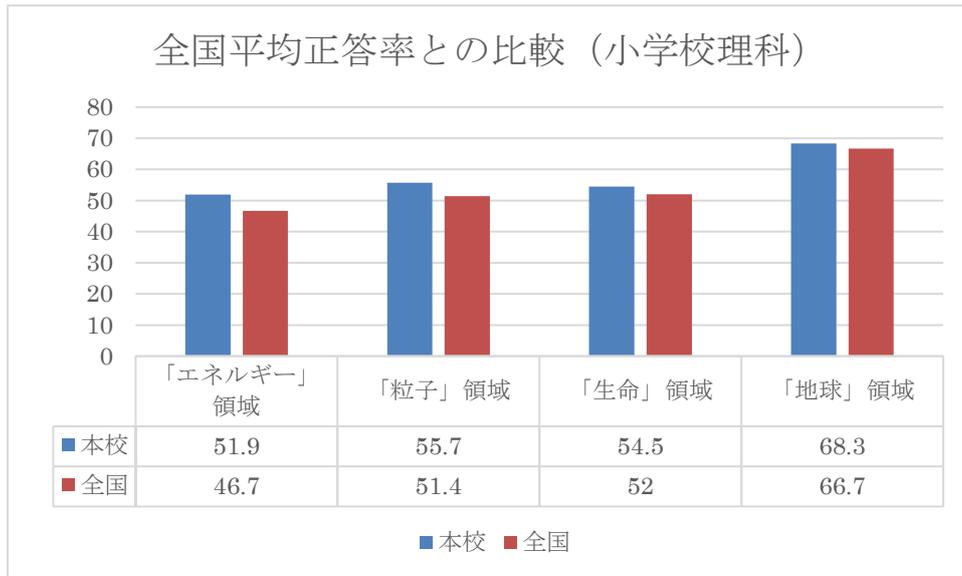
##### 【学校では】

- 児童の主体的な学びにつながるよう、子どもに応じた学習（個別最適な学び）や子ども同士の話し合い（協働的な学び）、探究的な活動を取り入れた学習に取り組んでいきます。
- 応用問題等に取り組む時間を増やし、様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- タブレットPCを活用し、スキルタイムや家庭学習等で基礎基本の効果的な定着を図ります。

##### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。間違えたテストやプリントの問題を再度解くような学習を、自学として取り組むこともお勧めします。
- 算数を好きにするには、「学んだことが生活の中で使えて、便利だな、おもしろいな」と感じる経験をさせることが大切です。「買い物」「折り紙で分数」「図形さがし」など、生活の中で算数を使ってみてください。

## 4 理科



### (1) 結果

全ての領域で全国平均を上回っています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均と同等です。

### (2) 成果と課題

「エネルギー」が 5.2 ポイント、「粒子」4.3 ポイント、「生命」2.5 ポイント、「地球」1.6 ポイント上回りました。評価の観点、問題の形式から見ても、全国平均を上回っています。児童の学習状況を把握し、理科の学習過程を丁寧に行ったことによる成果であると考えます。学習の中で体験的活動を多く取り入れ繰り返したことも、学習内容の理解を高めるために有効であったと考えます。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 観察・実験等の体験的活動を取り入れることで、児童の理解を深め、興味関心を高めていきます。具体的で分かりやすい表現を心がけ、児童の理解の確認を行いながら丁寧に指導を進めていきます。
- 理科の学習過程を「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題・・・」とし、一貫した探究的な学習を行い、児童の思考力、判断力、表現力を向上させます。体験で得た気付きを言語化することも意識的に取り入れ、学びを整理し、思考を深める力へとつなげていきます。
- 学習内容と実社会・実生活との関連を大切に、理科を学ぶ意義や有用性を実感させる機会を設けます。

#### 【ご家庭では】

- 理科が好きにする場合も、「学んだことが生活の中で使えて、便利だな、おもしろいな」と感じる経験をさせることが有効です。身近な植物、月や太陽、コップの結露など、日常生活での現象と学んだことを結び付けると理解を深まることにつながります。
- おうちの方自身も興味を持ち、科学博物館や博物館等を一緒に訪れましょう。楽しみながら知識を広げたり、理科への興味関心を高めたりする機会になります。